

1. 日米株式と円/ドルの推移



(注)チャートは過去1年

	単位	2015/12/31	2016/3/31	2016/4/15	過去3年高値		過去3年安値	
		(前年末)	(前月末)	(前週末)	水準	日付	水準	日付
日経平均	円	19,033.71	16,758.67	16,848.03	20,952.71	2015/6/24	12,415.85	2013/6/13
NYダウ	ドル	17,425.03	17,685.09	17,897.46	18,351.36	2015/5/19	14,444.03	2013/4/19
円/ドル	円	120.22	112.57	108.76	125.86	2015/6/5	93.79	2013/6/13

過去3年高値・安値はザラ場ベース / 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

2. 日本株市場 先週の振り返り

~ 円安ドル高の進行や米国株市場の上昇を受けて、大幅反発 ~

先週の日本株市場は、週間ベースで日経平均が+1,026.51円(+6.49%)、TOPIXが+73.71ポイント(+5.72%)となり、円安ドル高の進行や米国株市場の上昇を受けて、大幅反発する展開となりました。業種別(東証33業種)にみると、全ての業種が上昇しました。

週明け11日の日本株市場は、107円後半まで円高ドル安が進行したことを受けて下落して始まりました。しかし翌12日から14日にかけて、①麻生財務相が為替の変動について、「場合によっては必要な措置をとる」と述べたことなどを背景に109円台半ばまで円安ドル高が進行したこと、②原油価格の上昇などを受けて米国株市場が堅調に推移したこと、③13日に発表された中国の輸出が市場予想を上回る結果だったことを受けて中国株市場が大きく上昇したことなどから、日経平均は17000円近くまで大幅上昇しました。週末は、G20財務相・中央銀行総裁会議や主要産油国会合を睨み様子見姿勢の強まる中、横ばい圏で推移しました。

3. 今週の主な予定

日程	曜日	国・地域	項目		前回
4月19日	Tue	米国	住宅着工件数	3月	1178千件
4月20日	Wed	日本	貿易収支	3月	2422億円
4月21日	Thu	米国	フィラデルフィア連銀製造業景況指数	4月	12.4
		欧州	景気先行指標総合指数	3月	0.1%
4月22日	Fri	日本	ECB(欧州中央銀行)政策理事会		
		日本	第3次産業活動指数(前月比)	2月	1.5%

決算発表予定 他	日本	決算発表：4/19 東京製鐵 4/20 安川電機、4/21 サイバーエージェント 4/22 中外製薬、富士通ゼネラル
	米国	決算発表：4/18 ベプシコ、モルガン・スタンレー、ネットフリックス、IBM 4/19 ジョンソン・エンド・ジョンソン、ゴールドマン・サックス、インテル、ヤフー 4/20 コカ・コーラ、U・S・バンコプ、アメリカン・エキスプレス、クアルコム、ヤム・プランズ 4/21 ブラックストーン・グループ、ベライゾン・コミュニケーションズ、ゼネラル・モーターズ、マイクロソフト、スターバックス、ビザ、アルファベット 4/22 ゼネラル・エレクトリック、マクドナルド、キャタピラー

※ 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

4. 日本株市場 今週の見通し

~ 下落して始まるものの、徐々に下値を切り上げる展開 ~

今週の日本株市場は、①G20財務相・中央銀行総裁会議において、通貨の競争的な切り下げを回避することが再確認されたことを受けて本邦通貨当局による為替介入の可能性が大きく低下したこと、②主要産油国が参加した会合において増産凍結が見送られたこと、③熊本地震による景気下押し圧力が懸念されることなどから、下落して始まるものの、④日銀に対する追加金融緩和圧力が一段と強まること、⑤震災復旧のため公共事業を中心とした財政支出が大幅に拡大されることなどから、徐々に下値を切り上げる展開を予想します。

その他の注目材料として、日本では20日の貿易収支、米国では本格化する決算発表、欧州では21日のECB政策理事会などが挙げられます。